

J Aバンク埼玉における地域密着型金融の取組状況（令和3年度）

J Aバンク埼玉（埼玉県下15 J Aと埼玉県信用農業協同組合連合会（以下、「信連」という。）」では、農業と地域社会に貢献するため、2019～2021年度 J Aバンク埼玉中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。

令和3年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

（J Aバンク埼玉の農業メインバンク機能強化への取り組み）

J Aバンク埼玉は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取り組みを行っております。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク埼玉は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしております。

令和4年3月末時点の J Aバンク埼玉の農業関係資金残高^(注1)は13,336百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は8,658百万円を取り扱っております。

(注1) 農業関係資金とは、農業者及び農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

(注2) J Aバンク埼玉が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取り扱いを行っております。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

種 類	令和4年3月末現在
農業	
穀作	3,001
野菜・園芸	4,975
果樹・樹園農業	587
工芸作物	398
養豚・肉牛・酪農	215
養鶏・鶏卵	95
養蚕	—
その他農業	4,041
農業関連団体等	20
合 計	13,336

(注)

1 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれております。

2 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれております。なお、本残高には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の制度資金の原資資金が含まれております。

【資金種別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	令和4年3月末現在
プロパー資金	10,978
農業制度資金	2,357
うち農業近代化資金	2,139
うちその他制度資金	218
合 計	13,336

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、農業制度資金以外のものをいいます。なお、プロパー農業資金には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の原資資金が含まれております。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的又は間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク埼玉が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としております。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

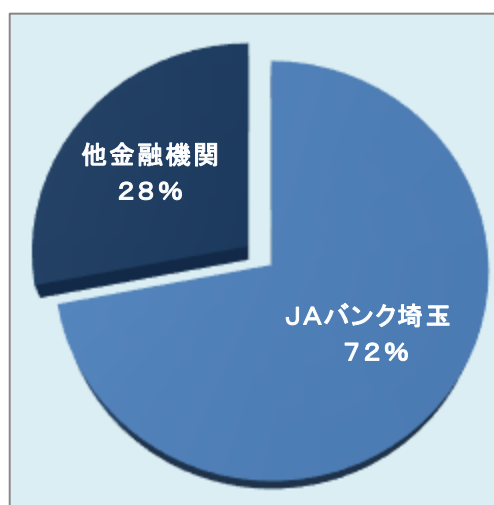
【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種 類	令和4年3月末現在
日本政策金融公庫資金	8,658
そ の 他	—
合 計	8,658

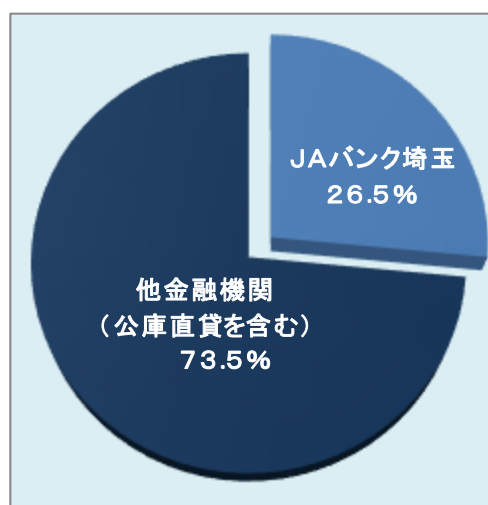
JAバンク埼玉は、主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いにおいて、高いシェアを占めております。

【埼玉県の農業近代化資金及び公庫農業資金の残高シェア】

農業近代化資金
(令和3年12月末時点)



公庫農業資金
(令和4年3月末時点)



(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

J Aバンク埼玉では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでおります。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しております。

信連では、J Aのサポート・指導機能、農業法人等への融資相談を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めております。

なお、こうした活動を支える体制として、県内15 J A及び信連の本店に、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を計28名配置しております(令和4年4月1日時点)。

また、農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応じていくことを目的として、J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、県内では819名が取得しております(令和4年3月末時点)。

なお、J Aバンク埼玉では、信連ほか県域の各連合会が一体となり、共通機構である「担い手サポートセンター」を構築し、担い手への個別支援・事業提案等、事業部門を横断した総合的なサポートに取り組んでおります。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しております。

【具体的取組事例】

〈農業資金相談会の開催〉

担い手への対応力強化及び農業資金のPRのため、J A・信連・日本政策金融公庫の共催により農業資金相談会を実施しました。

〈令和3年度相談会開催実績〉

J Aさいたま：7日間、J A埼玉中央：5日間、J Aちちぶ：2日間、

J A埼玉ひびきの：12日間、J Aくまがや：1日間、J Aふかや：2日間、

J Aほくさい：2日間、J A越谷市：1日間

(4) 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援（商談会・ビジネスマッチング）

JAバンク埼玉は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しております。

【令和3年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日程	主催者	参加団体数	サイト閲覧数	商談件数 (問合せ含む)
JAグループさいたま 農畜産物オンライン商談会 2021	令和3年10月1日 ～ 令和3年11月30日	信連 全農さいたま	31	9,754回	76件

〈JAグループさいたま農畜産物オンライン商談会2021〉

オンライン上で全国のバイヤーとの新たな販路開拓を創出します!

JAグループさいたま
農畜産物商談会
2021 オンライン開催

出展者募集
参加無料

開催期間
2021年 10月1日(金)～11月30日(火)

オンライン個別商談実施日
10月26日(火)
28日(木)
11月16日(火)
18日(木)

お申込方法
Webからお申込みください
https://form.run/@jalsaitama-entry2021
※スマートフォンからもお申込みいただけます。

申込締切日
8月6日(金)

※詳細募集要項が12月に詳しく説明書を作成いたします。

(注) JAバンク埼玉信連/JA全農さいたま (共催) 埼玉県内JA/JA埼玉県中央会/JA共済埼玉 (後援) 埼玉/農林中央会

出展要項

▶ 催事名 JAグループさいたま農畜産物オンライン商談会2021
▶ 会期 2021年10月1日(金)～11月30日(火)
▶ 募集者数 約55団体
▶ 出展対象 埼玉県内の農業者、農業団体等
▶ 開催内容 県産農畜産物および農産加工品のオンライン商談会
▶ 会場 JAグループさいたま農畜産物商談会2021JHP内
http://jaexpo-saitama.jp/
▶ 参加バイヤー スーパー、百貨店、コンビニ、生協、通販事業者、各種小売店、産社・部、惣菜、中食、給食、食販加工、外食、ホテル、旅館、輸出関連業者等の食の専門バイヤー
▶ 参加料 無料

オンライン出展に含まれるサービス

- 「出展者一覧」「出展者情報」ページ上で出展者・得意・サービス情報を公開
- バイヤーからの「オンライン問合せ機能」(メールでの問合せ)
- 「オンライン個別商談会」への参加資格
- オンライン個別商談会参加後のフィードバック(カルテ)の提供

2種類の形式による商談の機会をご提供します!

1 オンライン展示会

出展者・商品情報を全国のバイヤーに向けて公開いたします。バイヤーはいつでもどこでも商品情報を見て「オンライン問合せ」機能で、直接出展者へメールで問合せすることが可能です。

2 オンライン個別商談会

オンライン商談アプリバイヤーが出展者とバイヤーの間で商談を行い、商談マッチングの上、オンライン上での個別商談会を実施します。オンライン商談が初めての方もサポートがあるため安心です。

出展要項

- 1) 出展申込、商品情報もWEBフォームから登録することが可能
- 2) 商品情報のための撮影サービス(写真、動画)等も提供することがあります
- 3) スマホ、マイク、スピーカーが利用できるパソコンを推奨
- 4) 参加したバイヤーのワークフローを管理できる

※1) 4)の機能は使っていない出展者様は、各自での商談準備をごお願いいたしますので、事務局にてご案内いたします。

開催スケジュール

開催スケジュール	8月	9月	10月	11月
8月4日(金)	8月4日(金) A月申込 出展者・商品情報登録			
8月19日(水)	8月19日(水) 出展者説明会 登録スキルアップセミナー ※オンライン開催	9月上旬～ オンライン個別商談会 バイヤー申し込み開始	10月26日(火) 10月28日(木) オンライン個別商談会 バイヤー申し込み マッチング開始	11月16日(火) 11月18日(木) オンライン個別商談会

お問い合わせ先
JAバンク埼玉信連 (農業部) 7330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂9-12-30
TEL.048-829-3211 FAX.048-829-3049
E-mail: teigyoku@shu.jaok.jp
http://www.jabank-saitama.or.jp/keshirev/

JA全農さいたま (管理部) 7330-0062 埼玉県さいたま市浦和区高砂9-12-30
運営事務局 TEL.048-829-3211
http://www.az.zeion.or.jp/index2.html

運営事務局 「JAグループさいたま農畜産物商談会2021」事務局
日本農事振興社 ビジネスサポート本部内
E-mail: jst@biznet.jp@japok.co.jp
TEL.03-3537-1077

2 担い手の育成・経営等に係る支援

J Aバンク埼玉は、担い手をサポートするため、次の取り組みを行っております。

(1) 新規就農者の支援

J Aバンク埼玉では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金などを取り扱っております。

【新規就農者をサポートする資金の取り扱い実績】

(単位：件、百万円)

種 類	令和3年度 実行件数	令和3年度 実行金額	令和4年3月末 残 高
青年等就農資金	21	148.4	1,024.9
就農支援資金	-	-	21.3
そ の 他	-	-	-
合 計	21	148.4	1,046.2

(2) J Aバンク埼玉講演会・セミナー等の開催

J Aバンク埼玉では、農業者等のお取引先様を招いた相続セミナーを例年開催しております。コロナ禍以降においては、感染拡大防止の観点から対面開催は減少傾向となっておりますが、円滑な資産承継をサポートするため、相続・遺言個別相談会を実施し、一人ひとりのお悩みや想いを伺いながら、その解決と実現に向け丁寧なご提案を行っております。

講演会名	主催者	参加人数	講演内容
相続個別相談会	J A あさか野	5名	講師：埼玉県信連財務コンサルタント 題目：「相続への備えと遺言の必要性」
相続セミナー	J A ふかや	3名	
合計	2 J A	8名	

(3) 災害等の被害を受けた方への支援

J Aバンク埼玉では、自然災害等が発生し、農業者等の支援が必要となった場合には、災害対策窓口の設置や災害対策資金の創設、個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等の対応をしております。

(単位：件、百万円)

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
J A独自資金	J Aさいたま	新型コロナウイルス感染症の影響による運転資金等への融資を実施。	1	1
新型コロナの影響に係る災害復旧資金	J Aいるま野	新型コロナの影響拡大により、売上高減少等の被害に対し、無利息、保証料助成（農中）を実施。	0	0
新型コロナウイルス感染症対応資金特別要領の実施	J A埼玉中央	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた農業経営の一時的な悪化に対応し、農業経営の維持や再開に資することを目的に実施。（農中・信連の助成を活用）	0	0
アグリマイティー資金 災害緊急資金	J A埼玉 ひびきの	コロナウイルスで被害を受けた農業者様を対象に最大1%の利子補給が行われる低金利での融資を実施。	6	11
平成26年大雪災害対策特別資金	J Aくまがや	平成26年2月14日から15日の大雪により、農産物および農業用設備に被害を受けた組合員に対して、営農と生活に必要な資金を支援し、農業経営の安定を図ることを目的として実施。	30	57.8
農業災害資金	J Aくまがや	天災等の不慮の災害により被害を受けた農業者に対し、当組合が農業経営を維持安定させるために必要な低利の経営資金を迅速に融資し、災害の復旧と経営基盤の安定を図ることを目的として実施。	3	5
新型コロナウイルス感染症影響及び経営継続補助金申請を受けた方対象資金	J Aふかや	新型コロナウイルス感染症影響及び経営継続補助金申請を受けた方対象の農業経営の維持や再開を目的とした緊急性を要する資金、助成金申請に伴うつなぎ資金を創設。	1	1
合 計			41	75.8

(4) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク埼玉では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議等を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでおります。

【令和3年度の農業者の経営改善支援等の取り組み実績】

(単位：先数)

		期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再 生計画を策 定した先数 a	Aのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数 b	Aのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数 c	事業計画策 定率 = a / A	ランクアッ プ率 = b / A
正常先①		-	-		-	-	
要注意 先	うち その他要注意先②	-	-	-	-	-	-
	うち要管理先③	-	-	-	-	-	-
破綻懸念先④		2	-	-	1	-	-
実質破綻先⑤		-	-	-	-	-	-
破綻先⑥		-	-	-	-	-	-
小計(②～⑥の計)		2	-	-	1	-	-
合計		2	-	-	1	-	-

(注) 期初経営改善支援取組先及び債務者区分は令和4年3月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク埼玉では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めております。

(1) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク埼玉では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っております。

【令和3年度負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	令和3年度 実行件数	令和3年度 実行金額	令和4年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	1	6	6
畜産特別資金	0	0	0
その他	0	0	5
合計	1	6	11

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っております。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っております。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク埼玉では、地域社会へ貢献するため、次の取り組みを行っております。

(1) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク埼玉は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでおります。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、県下の小学校へ、74,479セット配布され、学校の授業等において活用されております。また、特別支援学級を扱う小学校8校及び特別支援学校6校へ387セット配布いたしました（令和3年度実績）。

以上